



# 窪町だより

窪町小学校令和6年度12月号

窪町小学校ホームページ URL: <http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/kubomachi-ps/>

「11月14日 願い Wishes.」

西幅 孝弘

私たち学校教員は「育てる」という仕事を担っています。ですから願いが叶う経験をする  
ことがいくつもあります。小さなものもあれば大きな願いや少し欲張りなものもあります。

恥ずかしくて挨拶ができなかった子が数か月経って初めて「おはようございます」と伝え  
てくれた時、休み時間に一人で遊んでいた子がいつの間にか友達と校庭を走り回っている

のを目にしたとき、おうちの人の体調がすぐれず不安そうに過ごしていた子が元気いっぱいになったとき、キャンプファイ  
ヤーで歌声が空に響いたとき、協働的な学びの楽しさを子どもたちが体感できたとき、乗れなかった竹馬を一生懸命  
に練習して乗れるようになったとき、水が怖くてプールに入れなかった子が初めて水に入れた時、探究の面白さを実感  
し目が輝いたとき、何度もチャレンジした逆上がりをクラスみんなが声援して達成できたとき。

10月21日、暖かな日にそのお友だちは窪町小に転入してきました。

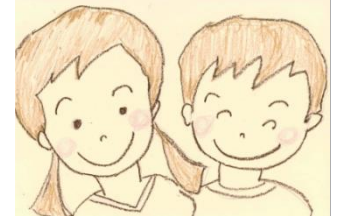
中央アジアの国から来日した1年生。今は母国語のみの生活のため一週間は家族みんなで一緒に校門をくぐりなが  
ら登校をしました。その後はお母さんとベビーカーに乗った幼い兄妹と登校しました。少しうつむき加減で不安そうな表  
情が続きました。言葉が通じず、知り合いもない新しい学校、新しい教室、日本文化にご家族みんなが戸惑い、その  
お友だちは学校に来ると自然に涙が出てきてしまいました。それでもクラスの子もたちは、その子の立場や気持ちを  
自然に考え始めました。1年生教室では、温かな子どもたちの発する「大丈夫?」「こまってるかな?」「仲よくしよう」  
という会話にはならない言葉や表情のやり取りの中にやさしさが生き生きと弾んでいました。

さらにそれを支えたのが初日から身振り手振りで迎え入れてくれた地域学校協働本部の方々です。まるで、ご自分  
の家族のように接してくださいました。学級担任は、困ったときの言葉シリーズを絵と母国語で表して紙芝居を作ってい  
ました。他にも文字を入力するのに手間はかかりますが便利で正確な携帯型翻訳機、文京区教育委員会さんも過去の  
日本語指導者の中で同郷の方を遡って探してくれました。圧巻だったのは同窓会会長や父母と先生の会の会長でし  
た。地域に共通言語で語れる方がいないか即日探し歩いてくれました。そして二つ返事で快く引き受けてくれた学生さ  
んがみつかりました。それから3週間。11月14日、大きなランドセルを背負って初めて一人で登校しました。小さくニコ  
ッと微笑んであいさつもできました。

私は心の中でいつものように「願いがかなったな。」と思いました。本人やご家族の努力があり、加えて「困ってま  
す。」と当事者や周りで気付いた誰かが声を上げるや否や、地域や保護者、教員、子どもたちが総出で助けようとする  
場所。空間。人間。の集まりが窪町だと感じました。ですから、窪町は教育に携わる者としての願いが実現しているよう  
にも感じています。

もう一つ伝えたいことがあります。転入後一か月が過ぎ、個人面談週間の下校時に女の子が困っているような表情  
で校庭を歩いていました。事情を聞こうと思ったのですが、私自身もうまく会話ができませんでした。担任の先生が翻訳  
機で話してみると「帽子がどこかにいってしまった」とのことでした。明日探そうねと言って見送りました。その様子をそば  
で見ていた5年生の女の子たちは、状況を理解し、寂しそうに一人で帰るその子のことが心配になり、ちゃんと帰れるか  
見守ってくれていたそうです。翌日その話を聞いたとき胸が熱くなりました。子どもたちの純真な心にやはり「願いが叶  
った。」との思いが募りました。

Someone's wish comes true.



## 事務室より

(事務室 増田)

事務室の仕事について紹介します。事務室では学習に必要な物品の準備のほか、学習費やPTA会費などの学納金の引き落としに関する業務も行っています。児童のみなさんや保護者のみなさまと直接関わる機会は少ないですが、日々の教育活動がスムーズに行われるよう、職員室や主事室と連携を取りながら、子どもたちの学校生活を支援しています。

## 音楽室より

(音楽主任 宝田雄介)

学芸会に向けて芸術の秋となりました。児童は、学芸会に向けて一生懸命練習に取り組んでいます。どの学年も劇中の大切な場面に歌が入っています。普段の授業や音楽朝会を通して身に付けてきた歌唱の基本を生かし、学年の皆で気持ちを一つにして歌い、劇を盛り上げてほしいです。さて、まもなく開演となります!どうぞお楽しみに。

〈吹奏楽部の成果について〉みなさまの応援のお陰で数々の賞を頂くことができました!

- ・第17回東京都小学校吹奏楽コンクール(金賞)
  - ・第64回東京都吹奏楽コンクール(金賞)
  - ・第30回日本管楽コンテスト全国大会(優秀賞・ジェネリックジャパン賞)
  - ・第72期 TBS こども音楽コンクール(最優秀校) ※東京都代表として関東大会へ進出
- これからも「全力!一致団結」の合言葉のもと、一人一人が努力し成長して参ります。

## 食育について

(給食主任 今泉 菜穂子)

小学校は学級担任制です。多くの教科学習、学校生活を学級担任と子どもたちで行います。食にかかわる知識や経験は国語・社会・理科・生活・体育・算数や家庭科・図工・音楽・外国語・総合の授業、特別活動でも結びついています。学級活動や給食は直接的に関わりをもちます。

5.6年生の給食委員会の子どもたちが、学校における食の課題について考えました。子どもから挙げた食の課題は「給食配膳車の適切な使い方」「給食配膳時の適切な食器の置き方」「喫食時のマナー」「SDGs の視点からとらえた給食の残菜」など多岐に渡りました。それらのことをクイズ形式にまとめ、動画を作成し、先月、全校児童に見てもらう機会がありました。

このような実践も「食育」に結びつくのではないかと考えています。食をめぐる社会の現状は、たくさんの情報があふれています。子どもたちが普段の生活の中から食への問題意識をもち、それを解決するために、自分は何ができるのかを考える機会を少しでもつくれるよう努めていきます。

